

合同主催事業実施報告書

(宛先) 公益財団法人 川崎市文化財団

理事長 北條秀衛 殿

(報告者) 住 所 川崎市麻生区万福寺 1-5-2 麻生市民館気付
麻生区文化協会内

アルテリッカ新ゆり美術展 2012 実行委員会

代表者氏名 実行委員長 佐藤勝昭

電 話 番 号 044-987-4897

次の事業を、財団法人川崎市文化財団との合同主催で実施したので、関係書類を添えて報告します。

事業等の名称	アルテリッカ新ゆり美術展 2012
期日または期間	平成 24 年 4 月 2 日～平成 24 年 4 月 8 日
事業等を行う場所	新百合 2 1 多目的ホール (ギャラリー仕様)
事業等の概要	麻生区美術家協会会員による絵画・工芸作品、麻生区文化協会会員、および文化協会行事参加者による美術作品 (絵画・書・陶芸・写真・いけ花等) の展示を行い市民に開示する。
事業等の対象者	美術を愛好する一般市民
他の共催・後援	しんゆり芸術祭 2012 (アルテリッカしんゆり) 実行委員会 川崎・しんゆり芸術のまちづくりフォーラム
過去の実績	アルテリッカ新ゆり美術展 2011 (平成 23 年 3 月実施)
事務責任者	住 所 麻生区王禅寺西 6-21-2
	氏 名 佐藤勝昭
	電話番号 044-987-4897 携帯:090-6185-4724
団体等の HP アドレス	新ゆりプレ芸術祭美術展 Web-site http://www011.upp.so-net.ne.jp/aso-art/shinyuri2012html/

関係書類

別紙 (1) 共催事業等実施報告書	別紙 (5) 会場写真
別紙 (2) 出品目録 (美術家協会)	別紙 (6) 新聞掲載記事
別紙 (3) 出品目録 (文化協会)	
別紙 (4) 収支決算報告書	

アルテリッカ新ゆり美術展 合同主催事業等実施報告書

本事業の目的

本事業は、しんゆり芸術祭 2012（アルテリッカしんゆり）のプレイベントとして、優れた美術工芸作品の展示を通し、地域のみなさんとの芸術的交流を図ることを目的とした。

本事業の運営

本事業は、麻生区美術家協会・麻生区文化協会美術工芸部会・（公財）川崎市文化財団のコラボレーションで行われた。各団体から選出された委員からなる実行委員会が事業の運営にあたった。

実行委員会

実行委員長 佐藤勝昭（麻生区美術家協会事務局、麻生区文化協会役員会総務：洋画）

実行委員

麻生区美術家協会

大前美登利（洋画）、佐藤英行（洋画）、塚田稔（洋画）、松田洋子（洋画）

麻生区文化協会

菅原敬子（会長）、笠原恒子（副会長：書）、千坂隆男（副会長：写真）、

山本絢子（美術工芸部会長）、阿部芳子（運営委員：生け花）、岩田輝夫（陶芸）

川崎市文化財団 小林雄介

第1回実行委 2011年12月6日（水）18:30～20:00 新百合21ホール第一研修室

第2回実行委 2012年2月9日（水）18:30～20:00 新百合21ホール第一研修室

第3回実行委 2012年3月27日（火）18:30～20:00 新百合21ホール第一研修室

第4回実行委 2012年6月21日（木）18:30～20:00 新百合21ホール第一研修室

本事業の内容

本事業においては、会場を半分にわけ、麻生区美術家協会の作品展示と、麻生区文化協会美術工芸部会の作品展示の2つが平行して行われた。また、劇団民藝による滝沢修自画像特別展示が開催された。本事業は、麻生区区制制定30周年冠事業の1つとしても位置づけられた。

- ・ 麻生区美術家協会は、別紙（2）の通り19名の会員が洋画14点・日本画3点、工芸2点、計19点を展示した。
- ・ 麻生区文化協会は、別紙（3）の通り、いけ花36名、書6名、写真7名、陶芸5名の計54名の会員（団体会員のメンバー含む）が、生け花21点、書6点、写真14点、陶芸23点の作品計63点の展示に加え、文化協会主催の「舞台衣装をつけた民藝の女優さんを描くデッサン会」参加者の作品33点の展示を行った。
- ・ 劇団「民藝」の創始者の1人である滝沢修の自画像2点の特別展示が行われた。
- ・ 初日（4月2日）17:00-18:30にオープニングパーティを行った。出品者・招待者を含め約80名が参加した。
- ・ DMはがき（大判）5000枚、ポスター（A1）50枚、ちらし（A4）3000枚を作製し配付した。

本事業の参観者

4月2日：259名、4月3日：857名、4月4日：214名、4月5日：233名、4月6日：325名、4月7日：242名、4月8日：283名、7日間の計1,641名の参観があった。

本事業の収支報告

別紙（4）の通り報告する。

■ 美術家協会出品目録

氏名	ジャンル	所属団体	作品サイズ	題名
稲葉 雪子	水彩画	無所属	90x120	赤い花
犬飼三千子	洋画	新象作家協会	148x162	飛天
植田 葉子	洋画	写実画壇	140x170	スペインカダケスの漁村にて
大澤美樹子	工芸(染織)	国画会	115x240	天と地を結ぶもの
大前美登利	洋画	国画会、女流画家協会	200×200	Singin' in the Rain
尾田久美子	日本画	無所属	60×120	爛漫
杵淵やすお	洋画	現代童画会	163x131	森の道化師たち
佐藤 勝昭	洋画	日府展	163x131	早春の麻生不動院
佐藤 英行	洋画	二科展	195x130	柿
志村 幸男	洋画	白日会	110x162	晩秋の里
塚田 稔	洋画	日府展	227x181	壁面のグラフィティ
西野 優子	洋画	独立美術家協会	163x131	穴/未来
福家 悦子	日本画	日本美術院	163x163	望郷
藤井 繁	洋画	二紀会	194x162	無関心なつがい
松田 洋子	洋画	無所属	115x165	帰還
安富 信也	洋画	国画会	240x148	青の十字架(詩篇)
山口 愛美	洋画	春陽会	163x131	寂しがり屋の女王様
山口 小枝	工芸(織)	国画会	190x66	Buildings
山田 土筆	日本画	無所属	170x120	落葉路

■ 文化協会出品目録

ジャンル	出品者	展示内容
書	大川 恵翠	「一瞬の風」
	笠原 秋水	「絶望との闘い」
	笠原 道汀	百田宗治詩「怒っている海」
	木村 幾月	「鳳鳴朝暘」
	城島 紅秋	「無限妙理有静中」
	渡邊 芳園	蘇軾「後赤壁賦」
写真	小田島紀美	「麻生川の桜」、「春待つ梅林」
	小田島 寛	「斜照に映え」、「蓋の先に」
	千坂 隆男	「七草畑の春」、「趣味に生きる」
	西井 和子	「鴨の親子」、「蝶と黄秋桜」
	英 径夫	「ボケの花」、「豊熟への祈り」
	森 妙子	「梅香の中で」、「私の好きな道」
	山本 彬夫	「浅春」、「雪の朝」

陶芸	池部 健	「赤志野花入れ」、「赤志野タタラ皿」、「志野花入れ」、「鉄釉ランプシェード」
	岩田 輝夫	「倒木の根」、「海老文大鉢」、「柿釉野葡萄文鉢」、灯具「アマゾンの食虫植物」、灯具「マリア・テレジアのお忍び山荘」
	内野 勝雄	「青白磁鉢」、「青白磁花器」、「灰釉ランプシェード」、「上絵付け山吹文鉢」、「織部角鉢」
	太田 博三	「聖母子」、「生誕」、「薔薇」、「想夫恋」
	深野 怜	「象嵌織部花器」、「色絵山吹文皿」、「染付冬景色皿」、「色絵草花文花生」、「白磁波線彫香炉」
いけば花	「春」麻生いけばな協会 36 名が前後期にわけていけば花作品を展示します。	
	前期(4/2-4/4)	青木霞洋 麻生静美 井上靖子 上田敬子 大川緑靖 小澤洋子 北村美知子 北村礼窓 木村緑星 日下部理秀 熊木理康 倉田理貴 小疇禮子 田内志保 田中節子 平松由翠 福井 舞 藤谷理美 吉田 郁
	後期(4/5-4/8)	阿部芳翠 天田香苑 板垣和月 井上暁雪 碓井照代 小川露風 小澤誠弓 河 内山豊道 木戸豊英 鮎川江美子 佐藤紫淑 菅原紫智 鈴木日出子 田中草雅 照沼妙子 長澤紫順 藤本芳英

■文化協会主催

「舞台衣装を着けた民藝の女優さんを描くデッサン会」参加者作品展

出品者	青木純子、青木康栄、浅野鴻志、荒西 晴子、淡田淑子、石坂 敦生、伊藤宏、白井有子、江渡信子、岡本 欣三、笠原裕子、かとうさちこ、木藤允子、鯨井恭子、熊野亨、齋藤聖子、斉藤英樹、柴田照代、鈴木十四夫、高橋英美、滝澤美恵子、中野菁子、西 東十郎、根本 衛、平岩研三、馬嶋和子、松尾謙一、茂木 弘、梁瀬 永子、山崎 省三、吉岡まり子、吉澤久美子、米澤晶子、和田 紀一
-----	--

別紙（４）収支報告書

収入の部

費目	単価	予算額	決算額	備考
補助金 1			699839	文化財団
補助金 2			76355	美術家協会(飾り付け料、通信費)
補助金 3			56000	文化協会
出品料			84000	美術家協会
デッサン会通信費	500		16500	33×500
パーティ参加費	1,000		81000	文化協会、美術家協会
計			1013694	

支出の部

費目	単価	予算額	決算額	備考
会場費			420600	文化財団（420600）
設備使用料			120400	文化財団（120400）
作品運搬費			90000	美術家協会作品運搬料
展示飾付経費			30000	美術家協会
広報宣伝費			90080	文化財団（90080）
パーティ経費			174900	飲食 158550 設備料 16350
事務経費			77355	美術家協会 21355+文化協会 56000
雑費			10359	文化財団（ノリパネ、芳名帳等）
計			1013694	

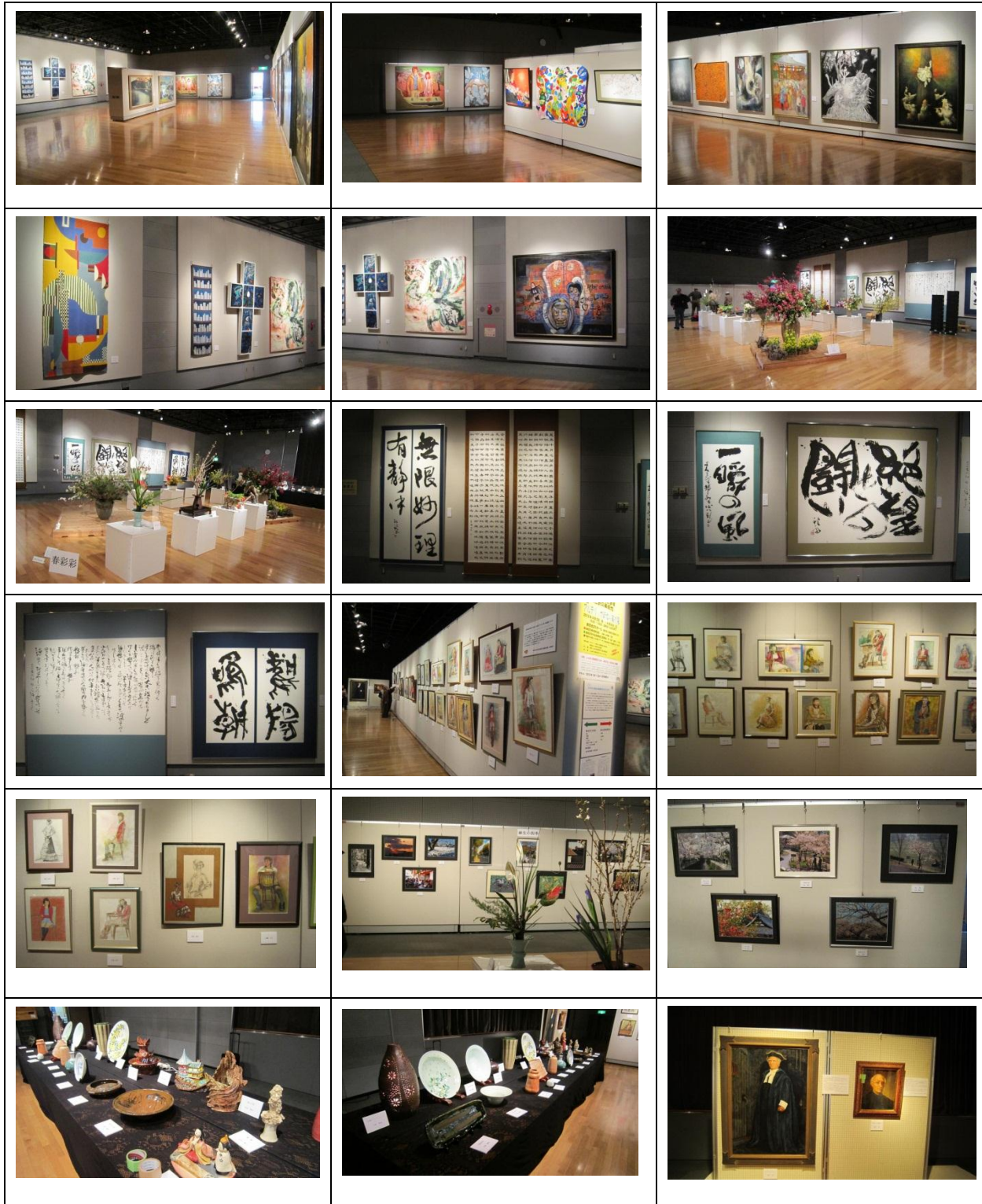
1. 美術家協会

収入	出品料	84000	
	美術家協会補助金	76355	
	収入計	160355	
支出	経費小計	141355	
	事務費	5915	アトリエモネ
	通信費	15440	
	搬入搬出	90000	
	飾り付け料	30000	
オープニング負担分	19000		
支出計	160355		

2. 文化協会

収入	デッサン会通信費	16500	500x33
	文化協会補助金	56000	
	パーティ参加費	62000	1000x(出品者 54+デッサン会 8)
	収入計	134000	
支出	デッサン会経費	16500	通信費・事務費
	経費小計	56000	
	通信費	22000	展示グループ通信費 広報制作謝金含む
	事務経費	12000	
	渉外費	15000	
	会議費	5000	
	駐車料金	2000	
オープニング負担分	62000	デッサン 8、生け花 36、写真 7、陶芸 5、書 6	
支出計	134500		

会場風景



東京新聞川崎版 2012. 4. 5

◆伝わるプレゼンテーション―助成金獲得の成功に向けて―

21日13時半～16時半。かわさき市民活動センター会議室（JR南武線、横須賀線または東急東横線など武蔵小杉駅）。市内で活動中の団体メンバーを対象としたセミナー。講師は元富士ゼロックス東京の伊藤清和さん。参加費500円、定員20人（申し込み多数の場合は抽選）。申し込みは、電話・ファクス（430）5577または、Eメール sin@kawasaki-shi.minkatsudo.or.jp

◆アルテリツカ新ゆり美術展2012

2月28日10～18時（最終日は16時まで）、麻生区万福寺の急線新百合ヶ丘駅。麻生区美術家協会と麻生区文化協会美術工芸部会員のコラボレーションによる美術展。絵画、工芸、書、写真、陶芸、生け花などの美術工芸品を披露。「民藝（みんげい）」の女優さんを描くデッサン会参加者の作品も展示する。入場無料。問い合わせは、同実行委

毎日新聞

滝沢修さん自画像も

川崎市麻生区の芸術家の作品を集めたアルテリツカ新ゆり美術展は、例年、コを麻生日を迎えた自身を麻生区に描いた自画像も展示する。川崎・麻生



滝沢修さんの自画像を時曲るほどのタンノイに入れた自画像の定と75歳の麻生区自画像を掛けた川崎市麻生区。

麻生の芸術家が魅せる

新ゆり美術展2012が開幕。アルテリツカ新ゆり美術（地と）で開催している。麻生区文化協会、川崎・し周年記念事業の一環、初日となる今日には、オナーズ・アート展が実施された。パティには、麻生の芸術家が魅せる。同日、今年6月に行われた同文化協会主催の「劇団民藝の女優さんを描くデッサン会」参加者による作品も展示されている。

会場内では、麻生区美術家協会と麻生区文化協会美術工芸部会の作品展示が並行して行われている。美術協会は洋画や日本画、工芸などの大作を展示し、文化協会は生け花や書、写真や陶芸などの展示を行っている。同時に、今年6月に行われた同文化協会主催の「劇団民藝の女優さんを描くデッサン会」参加者による作品も展示されている。

タウンニュース 2012. 4. 7